

'88迎春



1988

1月号/63
広報
みなみあぐー

No. 290

町の人口

62年11月末現在

総人口 5,362人 △2

男 2,558人 0

女 2,804人 △2

世帯数 1,350戸 0

町 橋
長 本
公



'88新春のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望あふるる元旦を迎えたことを存じます。

さて、昨年を振りかえりますと、皆様方の温かい御支持を得て町長に当選させていただきました。やっと駆け出したばかりで、いろいろな問題も山積しておりますが、本年も懸命に奮闘してまいる所存でございますのでよろしくお願い致します。

年頭にあたり、私の所感を述べさせていただきます。

アメリカのジャーナリストにノーマン・カズンズという人がいます。このカズンズ氏は1964年、ソ連への旅から帰米した直後、突然に難病の膠原病におそれ、専門医から回復する可能性は500分の1と宣告されるほどの重態におちいったそうです。

カズンズ氏が、私たち日本人にもっともよく記憶されているのはおそらく、1956年「広島の被爆乙女」25人をアメリカに連れて行き、形成外科手術を受けさせたことでしょう。

回復するのはほとんど難しいと診断されたカズンズ氏は、どうしたか。彼は、絶対に「希望」を失うことなく、どんなに苦しくても笑顔を絶やさず、必ず治してみせるぞと自分に言い聞かせて、みごと死の淵から生還したのです。カズンズ氏は、こう言っています。

「たとえ前途がまったく絶望的と思われる時でも、人間の身心の再生能力を決して過小評価してはならぬということである。生命力というものは地球上でもっとも理解されていない力かも知れない。人間の精神と肉体の双方に生まれながらに完全性と再生を求めてつき進む力が備わっている。」と

生きていく「希望」さえ失わなければ、人間の生命の中に、あらゆる病魔を追い出していく力が出てくる、という点に私は深い感銘をうけました。

やや、前置きが長くなりましたが、現代の世相を見ておりますと、本当に暗いことばかりであります。全く明るい話題が見あたりません。しかし、こういう時だからこそ、「希望」を持って、生きていくことが大事だと思うであります。

この南小国町でも、黒川・小田・田ノ原・満願寺・瀬の本の温泉には大勢の観光客がおしよせ、熊本県下でも一躍有名になりましたが、これらも私たち町民の希望であり誇りであります。さらに今以上に一人一人の御客様を温かくむかえ心から大切にし、「また来たいな」「あの友人も連れていこう」と言われるようになってほしいと念願しています。

一方、農業は昨年、長雨続きで米が不作になりました。私も、陳情に東奔西走いたしましたが、何とかしてこの逆境をはねかえして行きたいと思っております。減反、減収で農業は、やりがいのない仕事のように思われるかもしれません。しかし、私たちの生活の基盤をなすものは農業であります。私は、農業にがんばっておられる人を心から尊敬しておりますし、私も力のかぎり農業の活路を開いていくよう努力する決意であります。

さらに商工業の方々お一人お一人が、真剣に努力されている姿に、頭の下がる思いです。

大手スーパー等の進出により、かなりのダメージがあるのもよく存じあげております。お客様がたくさんおしかけてくることで有名な、あるうどん屋の主人が、その秘訣を聞かれたとき「別にこれといったことはないんですが、お客様お一人お一人を心の中で押む気持ちで接している。」という答えが返ってきたという話を聞いたことがあります。私もなるほどなあと感心した次第です。南小国町商工会でも、青年部が新しい企画で行動されているようで、心より益々の発展を念じているところであります。

やはり何事も大切なことは「ピンチをチャンスに」していこうという執念だと思います。やる気と執念がある限り、様々な工夫と企画で新しい発展ができると確信しております。

南小国町の財政も、かなり厳しいものがありますが、町民の方々の智恵と力を結集していけば必ず転換できると思います。今、私が心より頼もしく「またうれしく思っていることは、不況を克服し明るい町づくりを目指す青壮年の各グループの活躍であります。それも自分たちが自主的、主体的に取り組む運動である事に敬意を表すとともに町としても全面的な協力と支援を惜しまないものであります。

新聞等にも紹介されました「きよらの里づくり運動」をテーマに日本一親切な人が住む町づくりをしていこうという運動が始まりました。「きよら」とは《清らかで美しい》という意味で、それまでの村おこし運動が物おこしにかたよっていたものから、もう一步深めて心おこしをして、車の両輪となるようにしていこうというものであります。

南小国町には清里(大地)があります。そこに清い心(人間)をもつた人々が住んでいて、清い品(物産)をつくっている。そういう南小国の持ち味を最大限出していこうというのが、この「きよらの里づくり運動」です。早くも低農薬と土づくりをめざしている青年たちがいます。

私は、どしどしつ皆様のご意見を拝聴し、町政に生かしていこうと思っております。

昭和63年が皆様にとりまして、益々ご健勝でご多幸の年でありますようお祈り申し上げますとともに今後一層のご鞭撻とご教訓を賜りますようお願い申し上げて年頭のご挨拶と致します。

昭和63年 元旦



議長
鞭馬司

昭和63年の新春を迎え、町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年4月統一地方選挙が行なわれ、現職4名、新人10名という大巾な新旧交替となり議会構成におきまして、不肖私が議会代表に再度選出で戴きました。使命の重大さを更に痛感致しております。私は、今後更に研鑽を重ね議会の円滑な運営と町民の皆様の声が町政に反映される状況作りの為に、又町政進展の為努力致しております。議会は、初議会に於て、前回町で宣言しております「挨拶・礼儀の励行、時間の厳守」を議会が率先して行くと言う事で決定して戴きました。議会前30分には、全員が集ります。中食も役場控室で行いまして、時間の厳守を致しております。地方自治施行、満40年を経過しましたが、振り返って感慨新たなものがあると同時に63年度は、来るべき未来に向って一層の飛躍を図るべき決意の年でもあると思います。時あたかも21世紀を間近に望み、内外諸情勢は、激動の時代を迎えようとしております。ことに当って、地方自治は時代の変化に即応する弾力性と進取の気性を持って、国土の多極分散型の形成や地域の活性化等々、山積する諸問題に対処して行くことが強く求められています。議会においては、本町基幹産業を基盤とする自治体の確立と地域住民の福祉向上に邁進する為、議会機能の強化と議会活動の活性化推進を目標として努力して行く所存であります。なにとぞ倍旧のご指導と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆様の益々のご健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、新年の御挨拶に致します。



教育長
日野元也

新年明けましておめでとうございます。皆さん、よい年をお迎えのことと思います。

昨年は国際的な大きな波動の中で、わが国もさまざまな影響を受けながら明けくれた一年であります。

国内では、昨年の統一地方選により、多くの町村で首長、議員の交替が行われました。町村の抱えている多くの問題を、新しい感覚で解決していくことになるでしょう。

わが国の教育も、戦後の改革以来40年を経て、新たに臨教審による答申がなされました。政府も近い将来この趣旨に沿って教育改革に着手されるでしょうが、国際性豊かな日本国民の育成という見地からの改革を期待したいものです。

昨年、成人教育講座として農民作家、山下惣一氏の講演会を開きました。厳しい内外状勢の中で、これから農村の進むべき方向を示されましたが、方向性はわかっても、これに向かって道を拓いていくのは、住民の皆さんですと結ばれました。そのためにも、住民のくふうや努力を重ねることが大事であります。どんなに厳しい世になろうともこれを乗り切れる意志と英知を身につけておかねばなりません。

本町教育行政の多年の課題でありました小学校校舎改築が、62年度事業として中原小学校に決まり、目下工事を進めています。残りの学校ならびに社会教育施設の改築も焦眉の問題であります。

特に公民館は、社会教育の據点として、機能的にも充分活用できるものの建設を急がねばなりません。

青少年は次代を背負う力とよく言われます。育成会支部活動で一日一汗運動をはじめ、親と子のふれ合いの場をいくつも年間行事として定着させつつあることは、青少年を見守るおとな姿勢が感ぜられ、心強く思いました。町の活性化は、先づ人づくりから始めねばなりません。

昭和63年は昇竜の年、きびしい現実ではありますが、ねばり強い歩みで、皆さんの大飛躍を祈ってやみません。

広報みなみおぐに



農宗長像 良造

昭和六十三年の新春を迎え
町民の皆様に謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

農協事業には、格別のご厚く御礼申し上げます。さて、近年の農業情勢は、私が申し上げるまでもなく、農産物の自由化円高貿易摩擦に加え、農業団体の強力な反対運動にもかかわらず、残念ながら昨年度は米の値下げとなり、農家の皆様には、大変御迷惑をおかけ致しました。又、水田農業確立対策につきましては、皆様方の理解ある御協力により、南小国町全農家が達成し、現在當農加算金について農家の賛同も頂きました。昨年を振り返り見ますと、七月八月の長雨・日照不足・台風とかつてない災害にみま

配をいただき厚く御礼申し上げます。さて、近年の農業情勢は、私が申し上げるまでもなく、農産物の自由化円高貿易摩擦に加え、農業団体の強力な反対運動にもかかわらず、残念ながら昨年度は米の値下がりとなり、農家の皆様には、大変御迷惑をおかけ致しました。又、水田農業確立対策につきましては、皆様方の理解ある御協力により、南小国町全農家が達成し、現在當農加算金について農家の賛同も頂きました。昨年を振り返り見ますと、七月八月の長雨・日照不足・台風とかつてない災害にみま

われ、最低の作況指数となり米の限度数量を大きく減少し最後の望みとして共済金の獲得を強力に押し進めてまいりました。尚、野菜については、異常気象により数量的に減少しましたが、全品目が安定した価格となり個人差は有りますが、目標達成に手の届く所まで努力され品質選別共に市場の好評もいただき人作りの基本が評価され、施設の利用度も年々多くなり、今後の野菜振興に寄与するところです。

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

新春を迎える皆様の御多幸を御祈り致します。

さて山村で生計を営む者は木材を始め農林産物を、如何に有利に販売するかが大きな懸案であります。

木材需要のかなめである住宅建設の動向は、内需拡大の事業に取り組み、米に代る營農体系を作り上げ、水田農業確立対策に備えたいと思いまして、南小国町は、明るい兆しが見られます。又、花卉・畜産に力を入れ低コスト経営を営み農業の基本とする有機農業を進め、足腰の強い農業を役職員一体となり、推進展開致す所存であります。今年度は、ますます厳しく成り組合員の皆様方の御協力をお願ひ申し上げ、年頭の御挨拶と致します。



森林組合長 河津計助

より、六月下旬、国産材は檜を中心にして上昇し、又杉材は七月に上昇、建築資材も一斉に高騰しましたが、十月には下向きとなり、十一月には急騰前の価格に値戻りして、皆さんの期待に反して沈静化致しました。

私共山村に住む者は、森林の保全機能の役目を果たすことに努めながら木材需要拡大のため、住宅建築や公共事業等に新たな開拓、森林や豊かな自然の有効利用を計ると共に、幼令林の保育や除間伐を促進し、良質優良材生産に精進して南小国材の銘柄を確立し、林業生産基盤を整備して他の地域に負けない主産地作りに努めねばなりません。

当組合も林業構造改善事業により、研修集会施設と老朽化した森林組合事務所を新築し、南小国町林業振興と活性化と後継者難、山村の林業を支える若者の減少、更に円高化、山おこしの拠点として活用する所存であります。

今年も旧年に倍して御指導御鞭撻賜りますよう御願い申上げまして、年頭の御挨拶と致します。



商工会長 河津啓美

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は商工会事業にまして格別なる御支援、御協力を賜わり厚く御礼を申し上げます。

昨年度も引き続き円が高騰する中で、七月以降個人消費支出の増加と、民間住宅建設の増加により景気は底離れをして、回復の途をたどりはじめたと言われました。

しかし、地域の経済を見ますと、木材製品の値上がりはあつたものの、農林業関係の価格の低迷は続き、商工業は深刻な影響を受けており、減税と公共投資の追加による景気回復の波が届くまでにはしばらくの時間が必要と思われます。幸い当町では、観光関係が秘湯ブームと各位の努

広報のみなみおぐに

力により好調を持続しておりますのが、何依りの事であります。

商工会は地域活性化をめざし、町当局の御援助を仰ぎ、十一月一・二・三の三日間開催されました、熊本城二の丸広

場での、第一回「火の国物産フェア」に出品者のご協力のもとに南小国町の特産品を出品・展示即売し好評を得るとともに、シンポジウムにおいて各地の有意義な意見を聞くことが出来ました。

また、十月には福岡・大分・熊本三県の十四商工会による中九州地域振興連絡協議会を当町で開催し、地域振興についての意見、情報の交換を行いました。

地域振興は、地域の個性の認識、文化的個性の確立が必要であります。皆様の御協力のもとで成功させて頂きまして、産業祭における商工会青年部のパズルや、黒川地区商業会の大名行列、瀬の本高原マラソン大会は、その個性を発揮したものと言えましょう。

（5）

六十三年の商工会は、町当局との連携を強め、南小国町の個性を活用し、地域振興の

上

げ

ま

す

よ

う

お

願

い

た

ま

し

ま

す

よ

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

昭和63年1月1日

沿いにツツジの大苗を大川神社斜面一帯に植樹、②伝承事業に就いてはワラ工品（ゾーリ・ワラジ・雪靴）竹細工、テマリ作り、華道（生花）等老人の持つている技術を活用し、尚商品化する為先進地の視察を行い、③町内に昔から伝えられている民謡を録音し保存する事にしました。これらの事業を昨年の継続事業として実施しました。

尚、高村会長の指導に依り年々ダンスが普及され、昨年は講習会も回数を増やし、参加者も回を追つて増加しました。た。昨年十二月には郡老連主催でダンス講習会が一の宮町で開催され、町老連からも二十数名参加致しました。

昨秋郡老連主催の北部地区（小国郷）スポーツ大会にはこのダンスに四〇〇名参加し大盛況でした。

会員の皆様が吾々は南小国町老人クラブの会員で有るという自覚に目覚め各種事業に参画し、各地区老人会長の指

老人の持つている技術を活用し、尚商品化する為先進地の視察を行い、③町内に昔から伝えられている民謡を録音して保存する事にしました。これらの事業を昨年の継続事業として実施しました。

導に協力して戴いている事に
厚く敬意を表します。

南小国町が各種団体の協力に依り益々発展する事を乞い願い、老人クラブ会員が健康に充分留意され、御多幸である事を祈念致しまして年頭の御挨拶と致します。

婦人会長
中村八重子

A black and white portrait of a woman with short hair, wearing a dark, high-collared dress. She is looking slightly to her left. The photo is framed by a decorative border.

進む事のみ考えて後を振り返る余裕さえ失いつつあります。このままでは人の事はおろか自分さえ見失なう事になるのです。

幸い我が家には、まだく
人情があります。隣近所のぬ
くもりを感じます。其ぬくも
りを会の活動で大切に絶やさ
ず手を取りあつて努力してま
ります。

は力を入れられ、年間七回保健栄養料理教室を代表が講し各支部で復講し全員参としています。又、大学の方講演や人権学習、同和学等の機会も与えられ、会員積極的に受講し、心の栄養してまいりました。

母題供はとし思ふ。化に対応する為にも、これまでの学習や活動を踏み台として生涯に亘る学習や活動を続け、二十一世紀へ向けて会の新たな道を拓くため、平和で心豊かな地域づくり町づくりに貢献しなければならないと願い致します。

人の和それは力なりと思う。今年も頑張ります。宜敷くお皆様の御健康と御多幸をお祈りして挨拶と改します。

町当局は私達婦人会に絶大なる御援助と御指導を賜わり皆様には御支援御協力下さつて有難う御ざいます。会員一同心を新にして町の発展の為微力を尽し自己の成長に学習を重ね頑張つてまいります。世の移り変りを昔は十年一昔といい十年をくぎりに例えこちらで十日見代は五年、

助け励ましあい苦しみも喜
も分かちあつて生きていく
に意義があるのでした。いく
強がつても人間一人では決
て生きて行けません、婦人
には年齢の制限はありませ
一世帯に一人という取り決
もありません。その時活動
やすい人が参加すればよい
です。

事の会らしめんくに車社会の今日、交通事故防
止運動の参加協力は勿論ですが、無事故を祈つて街頭に立たなければなりません。

北部幹部研修会で町長の御挨拶の中に「天の理」「地の理」「人の和」について話されました。人の和とは（家庭の中は勿論男のぎす／＼を女で和らげよ。笑顔が大切、八割方（は婦人の力である）大切さをそして会に対する期待と信頼を説かれました。

助け励ましあつて生きしていく
も分かちあつて生きていく
に意義があるのです。いく
強がつても人間一人では決
て生きて行けません、婦人
には年齢の制限はありません
一世帯に一人という取り決
もありません。その時活動
やすい人が参加すればよい
です。

町連合は年度初めに年間
行事を立案し各校区の計画
共に抜け、更に支部の活動
加えて実行してまいります
町当局が住民の健康には
に力を入れられ、年間七回
保健栄養料理教室を代表が
講し各支部で復講し全員参
としています。又、大学の
方講演や人権学習、同和学
等の機会も与えられ、会員
積極的に受講し、心の栄養
してまいりました。

青少年健全育成の一環と
て一日一汗運動やドンドン
健康づくりハイキングは子
と共に参加です。青少年問
は家庭と社会の責任です。

事会らしさをめぐる特徴のととのいを取り扱なでまいります。

車社会の今日、交通事故防止運動の参加協力は勿論ですが、無事故を祈つて街頭に立たなければなりません。

北部幹部研修会で町長の御挨拶の中に「天の理」「地の理」「人の和」について話されました。人の和とは（家庭の中は勿論男のぎすくを女で和らげよ。笑顔が大切、八割方は婦人の力である）大切さを、そして会に対する期待と信頼を説かれました。

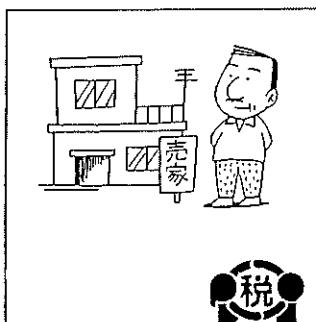
私達はこれから社会の変化に対応する為にも、これまでの学習や活動を踏み台として生涯に亘る学習や活動を続け、二十一世紀へ向けて会の新たな道を拓くため、平和で心豊かな地域づくり町づくりに貢献しなければならないと思う。

人の和それは力なりと思う今年も頑張ります。宣教くお願い致します。

皆様の御健康と御多幸をお祈りして挨拶と致します。

土地や建物などを 売ったとき…

土地や建物などを売ったときの利益にも税金がかかります。所得税は、原則として、その人の一年間のすべての所得を合計して計算することになっていますが、土地や建物なども売ったときの税金は、他の所得と分離して計算するなど、通常の計算方法とは異なっていますので、詳しいことは、税務署担当官にお尋ねください。



收れます。

処で、このようにして源泉徴収されたその年中の所得税の合計額と、その年中の給与

総額に対する正規の年税額との過不足額は、その年の最後に支給される給料やボーナス

での『年末調整』により精算されます。従って、大部分の

サラリーマンは、この『年末調整』により、その年の納税申告をする必要はありません。

しかし、給与の収入金額が一五〇〇万円を超える人や、給与以外の所得が二〇〇万円を超える方などは確定申告をしなければならない事になります。

又、多額の医療費を支払われた方や、災害に遭われた方、マイホームを新築したり、購入された方などは、確定申告をするとき源泉徴収された所得が還付されることがあります。

この場合、還付金を受け取るのに便利な方法として、銀行、農協等の預貯金口座に直接振り込む制度があります。これは、確定申告の際に申

告書に希望する金融機関名等

を書いて提出するだけで、還

付金は直接自分の預金口座に振り込まれますから、受け取

りに行く手間が省け、しかも安全、確実に受け取る事が出来ます。最非、この方法をご利用ください。

在、皆さんが歳をとったときや、けがや病気で障害者になられたとき、また母子家庭になられたときにも国民年金からそれぞれの年金が受けられます。国民年金に加入して生きがいのある人生を歩みます。国民年金に加入したこと、も、その義務の一つです。

新しく成人になられた皆さん、おめでとうございます。二〇歳になると、社会的にも成人として権利が認められると同時に義務も課せられま

す。国民年金に加入すること

は、年金はまだ先のことと思われるでしょうが、年金制度

は「世代と世代の助け合い」

のしくみにより成り立つて

て、あなた達がお年寄りを支

え、あなた達が歳をとったと

きには、その時代の若い人達

が支えるというしくみです。

原爆被爆者の子供に 対する無料健康診断 実施について

つまり、皆さんのが国民年金に加入して、若くて元気なうちから将来に備えておくことは、自己責任の原則を基本として

成り立っている今日の社会か

らみでも当然のことといえま

す。人生八〇年といわれる現

在、皆さんが歳をとったとき

や、けがや病気で障害者にな

られたとき、また母子家庭に

なられたときにも国民年金か

らそれぞれの年金が受けられ

ます。国民年金に加入して生

きがいのある人生を歩みまし

ん、おめでとうございます。

二〇歳になると、社会的に

も成人として権利が認められ

ると同時に義務も課せられま

す。国民年金に加入すること

は、年金はまだ先のことと思

われるでしょうが、年金制度

は「世代と世代の助け合い」

のしくみにより成り立つて

て、あなた達がお年寄りを支

え、あなた達が歳をとったと

きには、その時代の若い人達

が支えるというしくみです。

厚生省の委託で財団法人日本衆衛生協会が被爆者の子供に對して無料で健康診断を実施します。

受診を希望される方は、直

接左記の委託医療機関で受診

して下さい。

三、実施医療機関

熊本県成人病予防協会

(熊本健康相談所)

三八三一、一一一内線三五

又は保健所にお問い合わせくだ

さい。

四、受診料

料

※その他詳しい事については

県庁保健予防課(☎〇九六

三八三一、一一一内線三五

又は保健所にお問い合わせくだ

成人式のお知らせ

とき 1月3日(日)
ところ 自然休養村管理センター
☎42-1111代
*正午より受付開始
*午後1時より式典

サラリーマンの給与についての所得税は、毎月の給料やボーナスの支給の際に源泉徴



ど、だんだんできてきました。
おばあちゃんがするのがおお
いけどおもしろかったです。
また、二ねんせいでもあつた
らしいなあとおもいます。そ
して、おばあちゃんやおじい
ちゃんがくるといいなあとお
もいます。まだできないとこ
ろをおしえてもらいたいです。
おじいちゃんおばあちゃん、
ありがとうございました。

物は変化するのかどうでもおき
しろいようで、目を光らせて
指導を受けていました。

一時間もすると色々な遊び
道具が出来あがり、こんどは
遊び方の実演。その光景は大
変ほほえましいものでした。

子供たちは、会員の指導を受けながら竹馬・竹トンボ・お手玉・わらじ作りに挑戦。

○児童の感想文紹介

ぼくは、はじめてふるさと
あそびしゅうかいをしたとき、



昔の遊びを伝授

市原小学校では十一月四日伝承遊具教室が開かれました。『おじいちゃん・おばあちゃんとの工作教室』が開か

訪れました。
子供たちは、会員の指導を
受けながら竹馬・竹トンボ・
手玉・つるし車等に挑戦。

第746回 共販状況報告

南小国町森林組合
昭和62年12月4日

樹種	長級	径級	高値	中値	安値
スギ	4 m	9~12	22,090	18,100	14,000
		13~16	22,600	19,000	15,600
		18~26	26,670	23,900	21,200
		28~34	38,260	31,600	26,900
	3 m	10~18	26,690	19,500	12,460
		20~26			
	2 m	10~18	17,120	11,200	7,320
		20~	18,330	15,800	13,340
ヒノキ	6 m	13~16	33,000	24,890	21,190
		18~			
	4 m	11~16	35,960	28,350	20,690
		18~26	35,410		31,690
		28~			
	6 m	13~16			
		18~			
1本単価	4 m	8 下	627	421	260

出荷玉数	10,379玉	材積	683.086 立 2,459 石
売上金額	12,831,336円	平均	18,784円 555円

区分		取引頭数	高 値	安 値	平均価格	前回平均価格	キロ単価	平均体重
あか牛	子牛ス	46頭	489,000円	220,000円	314,543円	372,396円	1,153円	272kg
	子牛去勢	74	483,000	193,000	369,864	426,017	1,305	283
ジャージ	子牛去勢	2	171,000	145,000	158,000	267,000	854	185
成 牛	あか牛	10	405,000	158,000	300,600	437,000	586	512
肥 育	あか牛	3	735,000	621,000	668,000	731,000	1,034	645
	乳 牛	33	653,000	360,000	511,878	514,826	792	645
合 計		168	735,000	145,000	381,291	—	1,028	370

九州電力からの ご頃の

願いします。

尚、九州電力では、九州電

小国家畜市場結果

=工事入札結果のお知らせ=

入札年月日	工事名	落札金額	工事請負者	工期	入札年月日	工事名	落札金額	工事請負者	工期
62.10.29	町道瓜上矢田原線改良工事	14,500	北里道路(株)	10/31~3/10	62.11.20	観光地基盤整備事業雀地獄周辺整備工事	5,700	樋口建設	11/24~3/15
〃	町村河川北黒川川災害復旧工事	410	利光建設	10/31~11/30	〃	中園台農地災害復旧工事	800	利光建設	11/24~1/30
〃	町道星和矢ヶ部線災害復旧工事	2,000	山本建設	10/31~12/25	〃	飛瀬農地災害復旧工事	1,650	利光建設	11/24~2/29
〃	町道吉原線災害復旧工事	2,161	林建設	10/31~12/25	〃	舞谷農地災害復旧工事	310	山本建設	11/24~1/30
〃	町道黒川線災害復旧工事	3,550	樋口建設	10/31~1/20	〃	東牧牧道災害復旧工事	440	山本建設	11/24~1/30
〃	山村林業構造改善事業林道上の山線開設工事	20,000	大仁産業(有)	10/31~3/10	〃	陣内農地災害復旧工事	1,110	大仁産業(有)	11/24~2/29
〃	林道長藪線舗装工事	7,000	北里道路(株)	10/31~2/29	〃	長迫農地災害復旧工事	300	利光建設	11/24~1/30
〃	町道瓜上中湯田線舗装工事	3,900	大仁産業(有)	10/31~12/25	〃	中園谷水路災害復旧工事	1,860	大仁産業(有)	11/24~2/29
〃	町道星和八本松線舗装工事	2,700	大仁産業(有)	10/31~12/25	〃	志賀瀬新井手水路災害復旧工事	1,380	山本建設	11/24~2/29
〃	町道吉原線舗装工事	4,300	日本道路(株)	10/31~12/25	〃	東井手水路災害復旧工事	475	林建設	11/24~1/30
〃	町道吉原瀬ノ本線舗装工業	1,450	九機工業(株)	10/31~11/30	〃	赤谷水路災害復旧工事	650	後藤工業	11/24~1/30
〃	団体営畜産經營環境整備事業斧隠線道路整備工事	10,500	北里道路(株)	10/31~12/20	〃	星和水路災害復旧工事	1,350	(有)丸井建設	11/24~2/29
62.11.20	町道吉原線改良工事	14,200	(有)丸井建設	11/24~3/10	〃	志賀瀬農地水路災害復旧工事	1,550	(有)丸井建設	11/24~2/29
〃	満願寺小学校校長住宅法止工事	970	山本建設	11/24~2/29	〃	林業構造改善事業林道小原線開設工事	23,250	(有)丸井建設	11/24~3/15

=昭和63年度=

《保育園児募集》

(受付期間 12月1日より1月31日まで)

町立

市原保育園 中原保育園 黒川保育園
(定員 90名) (定員 45名) (定員 45名)

※ 保育材料や遊具の負担、寄附等の心配はいっさい無用です。

※ 一日八時間、責任持ってお預かりします。安心しておまかせください。

※ 可愛いお子様です。広いスペースの中、多勢の仲間といっしょに豊かな体験を味わわせてみてはいかがでしょうか。

【募集要項】

申込み

- 入園申込書類は役場町民課窓口と各保育園にあります。
- 児童と生計を一にする扶養義務者（父母・祖父母・兄弟姉妹）であって給与所得のある方は勤務先からもらう昭和62年分源泉徴収票を受取り次第最寄りの保育園に提出してください。
- 定員の変更があった場合は新定員に達し次第、締切させていただきますので、早目にお申し込み下さい。
- その他不明の点については市原保育園（電話42-0135）に直接お尋ねください。



北里氏



中村氏

中村氏に工業統計調査の功績者として、通商産業大臣より、北里氏に毎月勤労統計調査の功績者として労働大臣より表彰されました。

この表彰伝達式は、昭和六十二年十一月二十六日、熊本市の水前寺共済会館で行われ、永年にわたる統計調査の功績をたたえられました。

中村八郎氏、北里和教氏 大臣表彰される!!



本年の干支“タツ”を作成された、脇戸の城戸文夫(43)さんを御紹介します。

城戸さんは十一月頃より来年の干支にちなんだタツを作成しようと、二男の秋則君(14)とワラを使って全長2㍍の迫力あるタツの置物を2週間ほどかけて、みごと完成。

顔の表情もすごさを感じ、キバもとがったようにこしらえたほか、眼鏡も1本のワラを丸めてはめ込むなど、随所に工夫をこらしています。

現在、タツの置物は役場の玄関口に飾られています。役場に訪れる方々は、みごとな出来栄えにびっくりしています。

中村八郎氏、 坂本英世医師



坂本医師



河津医師

新院長就任

—小国公立病院—

前院長 島井千里医師が、昭和六十二年三月三十一日付で退職され、四月より副院長河津俊彦医師が院長職を代行致しまいましたが、十二月一日付で副院長が院長に外科部長 坂本英世医師が副院長に就任しました。



電線の近くでは、お子様に絶対タコをあげさせないで下さい。

もし、電線にかかったら危険です。自分でとらずに、九州電力小国営業所へ連絡下さい。☎四六一一〇五三

電線のないところで!!

町民のひろば

菊日和西へ西へと一ト日旅
石橋 郷水
山火焚く火の粉杉の枝に飛び
日隈湯風呂
霜消しと草鞋といひて人親しさい。
河津 春兆
芋掘の手あが三日旅で落ち
河津 青山
旅終り出合を思ひ芋を掘る
杉 千代志
酌交す父子五人去年今年
杉 幸子
朝食前の胡瓜一反朝な取る
本田 青爽
阿蘇谷に暮しつゝけて草刈る
川津佳津美
旅に出る心づもりの稻架を解く
佐藤 淡竹
残り牛九十一頭牧炉閉づ
日隈 白龍
山里のお元日にも雪の舞ふ
下城 宇良
温泉のしづくばたりくと雪
日和 武田
草泊りする人もなく牛も減り
佐藤 美枝
山里の端居して蜘蛛の囲かけるしぐ
鎌水佐千子
さ見る
橋本 やち
山茶花のこぼる、ごとく母逝
杉野 正依

菊日和西へ西へと一ト日旅
石橋 郷水
山火焚く火の粉杉の枝に飛び
日隈湯風呂

町民カレンダー

January 63.1

1 金	元日 休日在宅医 [上野外科医院] ④62033
2 土	休日在宅医 [上野医院] ④80407
3 日	休日在宅医 [室原医院] ④20010 成人式 (受付正午～) [管理センター]
4 月	
5 火	青少年育成 [映写会] (中原小 午前10時～) (管理センター 午後1時30分～) (黒川小 午前10時～)
6 水	青少年育成 [映写会] (星和小 午後12時30分～) (満願寺小 午後3時～)
7 木	年金相談日 (午前10時～午後3時) [小国町開発センター] 健康相談 [上中原公民館] (午後1時～3時) 図書館開設 [中央公民館内] (午後2時～7時)
8 金	
9 土	
10 日	休日在宅医 [武石医院] ④62463
11 月	
12 火	1才6ヶ月健診 [管理センター] (午後1時～1時30分受付)
13 水	
14 木	不用犬収集日
15 金	成人の日 休日在宅医 [蓮田医院] ④21163
16 土	婦人検診 (午後1時～3時) [室原医院] [矢田原・湯田・古賀・中湯田] 各小・中学校始業式
17 日	休日在宅医 [樋木医院] ④62076
18 月	
19 火	保健栄養教室 [第1班] (午前9時～午後1時)
20 水	保健栄養教室 [第2班] (午前9時～午後1時)
21 木	図書館開設 [中央公民館内] (午後2時～7時)
22 金	婦人検診 (午後1時～3時) [室原医院] [上・中々原]
23 土	
24 日	休日在宅医 [大塚医院] ④63221
25 月	法律相談 (午後1時30分～3時30分)
26 火	乳児健診 [管理センター] (午前9時30分～正午) 母親学級 [管理センター] (午後1時30分～4時)
27 水	不用犬収集日
28 木	
29 金	婦人検診 (午後1時～3時) [室原医院] [下中原・滝下・平瀬・樋ノ口]
30 土	
31 日	休日在宅医 [音成医院] ④62069
1 月	保険税第8期納期限日
2 火	
3 水	
4 木	
5 金	年金相談日 (午前10時～午後3時) [小国町開発センター] 麻しん〈はしか〉 [管理センター] (午後1時～1時30分)
6 土	婦人検診 (午後1時～3時) [室原医院] [田中・千光寺・竹ノ熊・里組]

南小国町体育協会主催による男女混合のバドミントン大会を次の通り開催します。
ご家族で、職場や友達同志では是非参加して下さい。

▽期日 一月十八・十九・二十一日

▽時間 午後7時から

▽場所 南中体育館

▽申込期限 一月十四日まで

今年も頭光会 (代表 荒井 安正さん) より、黒川小学校に丹精こめてお作りいたいとた竹箒、雑布を多數御寄附いただきました。

学校美化、清掃に大切に利用させていただきます。
紙面をお借りしてお礼申し上げます。

市原本町 樋の口 武田 清士様
杉野 安生様

南小国町社会福祉協議会

故人の香典返しとして、次の方から、南小国町社会福祉協議会に多額のご寄附をいただきました。

ここに謹んで厚くお礼申し上げます。

▽申込先 南小国町バドミントン協会事務局

ありがとうございました



おめでとうございます

佐藤	12.3	11.11	11.8	11.6	出産日
文	平尾真理子	河津宗将	佐藤奈美	出生者	者
實	正美	浩二	義次	保護者	
扇	竹ノ熊	平瀬	吉原	住所	
上					

佐藤 本 中 島 一 喜 瓜上上
文 田 好 美 一 あさみ 森 小国町 上園



宇都宮ハナ	12.7	11.20	死
90			亡
春喜			者
立岩			

宇都宮ハナ (90) 安生 本町 住 所

おくやみ申し上げます